# 製品のお買い上げにあたって

## 収納家具・物品棚

●収納家具、物品棚等が使用中または地震の際等に倒れると「大けが」のもとになります。
所定の条件をこえる収納家具は、転倒を防止するための対策が必要です。
転倒防止工事の一例を図1に示します。
転倒防止工事は、ご購入された販売店へお申し付けください。

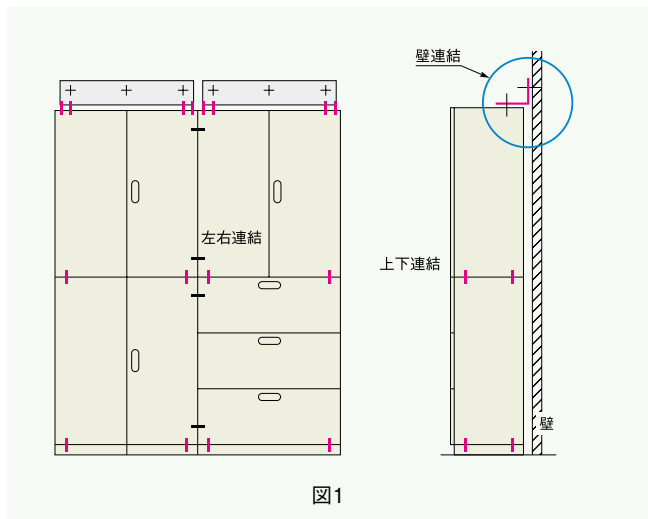



図1

●中間置きをする場合は、高さ1400mm以下で設置してください。1400mm以上での設置は大変危険です。
●家具同士の連結（横連結）も転倒防止策として有効です。
●移転や移設、扉部分交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

### ■収納家具の安定性の目安

JOIFA（日本オフィス家具協会）発行のオフィス環境スタンダードでは、
日本のオフィスにおける標準的な転倒防止対策の要否判断の目安として
次の判別式を掲載しています。

$$判別式: B/\sqrt{H} \leqq 4$$

B:家具の底辺の短辺（奥行きまたは幅の短い方の寸法）単位cm
H:家具の高さ寸法　単位cm

判別式4以下のものは、転倒しやすいといわれています。
この場合、なんらかの転倒防止対策が必要と思われます。
（※この判別式は家具の重心位置が中央にあると仮定したものです。
判別式4以上であっても、収納物の入れ方によっては重心が大きく変わり、
転倒する可能性もあります。）

●ラテラルファイリングキャビネットの転倒防止について
☆ラテラルファイリングキャビネットは、単体で使用せず、必ず2台以上で連結してご使用ください。やむをえず単体でご使用になる場合は、引出しを引き出したとき前方に倒れることを防ぐため、前記判別式の計算結果のいかんにかかわらず、転倒防止工事をする必要があります。
転倒防止には次の3通りの方法があります。
1.安定ベースを取り付けする。（図2参照）
2.壁と連結固定する。（図3参照）
3.床に固定する。（図4参照）
設置場所により適する方法を選択してください。
※ただし、やむをえず単体でご使用になる場合は、2あるいは3を必ず行ってください。
☆ラテラルファイリングキャビネットを積み重ね設置する場合、絶対に上段には設置しないでください。（図5参照）

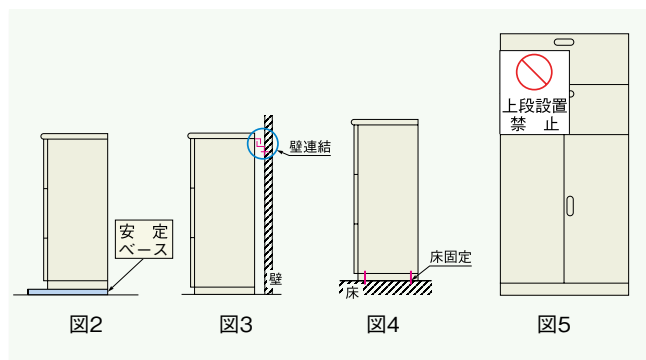
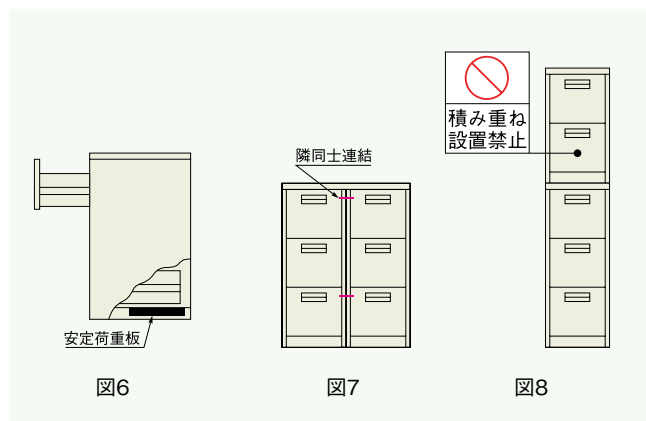
図2　図3　図4　図5

●ファイリングキャビネットの転倒防止について
☆ファイリングキャビネットの引出しを引き出したとき、前方に倒れることを防ぐため、前記判別式の計算結果のいかんにかかわらず、転倒防止工事をすることをお勧めします。
1.単体設置する場合には安定荷重板を追加取り付けする。（図6参照）
2.2つを横に並べて設置する場合には隣同士のキャビネットを連結する。（図7参照）
☆ファイリングキャビネットは、絶対に積み重ね設置をしないでください。（図8参照）

図6　図7　図8

●横移動型家具の連結数の制限
横移動型家具により、使用者等が挟まれて「けが」をすることを防止するため、固定棚側は6連、移動側は5連を超える組合わせはお受けできません。


プラス商品・品番の確認の仕方については、右記URLにてご確認ください。http://kagu.plus.co.jp/support/faq.html

## 壁面収納家具の転倒防止について

❶転倒防止対策のない壁面収納家具は、転倒による怪我の原因となります。必ず転倒防止対策を施した製品をご使用ください。

❷壁面収納家具を施工後に移設したい場合は、必ず設置施工のメーカー（とその販売店）にご相談ご依頼ください。設置施工のメーカー（とその販売店）またはその指定業者以外の者が、移設施工した場合は、その移設施工に起因する事故には一切の責任は負うことができません。

❸壁面収納家具は大型で施工を伴う家具ですから、一般の置き家具とは構造・体積等大きく異なります。十分に「取扱説明書」の安全条項を確認厳守の程お願い申し上げます。

※オフィスの転倒防止・安全対策（P.家405）をご参照ください。

## XFシリーズ　デスク・テーブル

●移転や移設、部品交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

### ■モニターアームレイアウト制限

●デスク全サイズ共通:モニター取付総重量20kgまで

例　モニター重量4kgの時 モニター4kg+モニターアーム1kg=5kg

取付可能数　20kg÷5kg=4台まで

## STAGEO FREE

●最大W9600mm(最大連結数:4連結)まで連結可能です。
ハイタイプは最大W4800mm(最大連結数:2連結)まで連結可能です。

●移転や移設、部品交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

### ■トレー付タイプについて

●STAGEO FREE type-Sトレー付に関してはすべて鍵付ですが、番号はすべて異なります。内筒交換対応なので、同番にしたい場合は販売店またはプラス・グループ営業所までお問い合わせください。

●STAGEO FREE type-Sトレー付タイプにキャビネットを入れる場合、キャビネットはH635mm以下のものをお選びください。

●STAGEO FREE type-WにA3・A4トレーを取り付けた場合、キャビネットはH628mm以下のものをお選びください。（トレー取付箇所以外の場所ではキャビネットはH635mm以下のものが設置可能です）

●STAGEO FREE type-S／type-Wに設置するキャビネットは、両面タイプD585mm以下、片面タイプ D670mm以下のものをお選びください。

### ■モニターアームレイアウト制限

●デスク全サイズ共通(両面・片面):モニター取付総重量20kgまで

例　モニター重量4kgの時 モニター4kg+モニターアーム1kg=5kg

取付可能数　20kg÷5kg=4台まで

### ■カウンター天板積載質量について

●最大積載質量:20kg

※W2400、W2000のデスクトップパネルにカウンター天板を2枚設置する場合、1枚あたりの最大積載質量は10kgとなります。

※カウンター天板の上に偏って重い物などを載せないでください。落下の危険性がございます。

## 収納家具等の施錠

●デスクの引出し、書庫、ロッカー等に装備されている錠前は簡易錠前です。工具等による破壊には耐えられず、また耐火性能も有しておりません。重要な物の保管には、防盗金庫、耐火金庫をご採用ください。

●扉や引出しをきちんと閉めた状態で施錠してください。施錠できなかったり、故障の原因になります。

●施錠されている状態で無理な力をかけて開けようとしないでください。施錠部等の故障の原因になります。

●予備のキーは、必ず別の場所に保管し、紛失しないようにしてください。

●キーを紛失した場合には、ご購入先の営業担当または販売店にご相談ください。有償にて合鍵をご用意いたします。

## ローパーティション

### ■XFスクリーン レイアウト制限

●使用の際は、図9～図13に示す各条件を必ずお守りください。

☆制限範囲を超えたレイアウトに関して事故等が生じた場合は、保証対象外となります。

☆XFパネルの場合に限り、図10、11、12、13に必ずアジャスタータイプを2個（3枚組は左右のパネルの内側）ご使用ください。

図9

図9
パネル単体の場合、安定脚を2個使用すること。
※安定脚はアジャスタータイプ・ディスクキャスタータイプどちらでも使用可能。

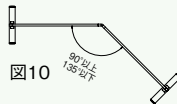



図10

図10
パネル2枚組で安定脚2個使用の場合、連結部パネル同士を90°以上135°以下に折りたたみ使用すること。
※安定脚はアジャスタータイプのみ使用可能。

図11

図11
パネル2枚組で直線レイアウトにする場合、安定脚の数は3個とする。
※安定脚はアジャスタータイプ・ディスクキャスタータイプどちらでも使用可能。

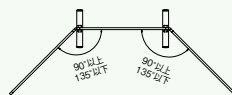



図12

図12
パネル3枚組で安定脚2個又は3個使用の場合、連結部パネル同士を90°以上135°以下に折りたたみ使用すること。
※安定脚はアジャスタータイプのみ使用可能。

図13

図13
パネル3枚組で直線レイアウトにする場合、安定脚の数は4個とする。
※安定脚はアジャスタータイプ・ディスクキャスタータイプどちらでも使用可能。

# 製品のお買い上げにあたって

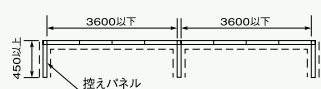
## ローパーティション

### ■XFパネル 直線レイアウト制限

●パネルを直線にレイアウトする際、転倒を防止するため下に示す各条件を必ずお守りください。ただし、各物件での什器の配置や躯体の仕様によっては条件が異なります。

※フリージョイントポールをご使用の際のレイアウト制限はP.家672 XFスクリーンをご参照ください。

| 品 名 | 図記号 |
|---|---|
| パネル本体 | ▭ |
| サポート安定脚 | ◁ ▷ |
| 自立安定脚 | ▭ ▭ |
| 床固定金具 | ○ |
| 各連結ポール | □ |

図14　控えパネルを使用する場合
H1300パネルの場合

連結長さ:3600mm以下　連結数:4枚以下
控えパネル:W450mm以上
------ :ブックシェルフ取付可能位置(フック取付推奨位置)

**注意** ●最大積載質量は、パネル1枚あたりブックシェルフ(15kg)、フック(5kg)です。

連結長さ:
3600mm以下
連結数:4枚以下

控えパネル:
W600mm以上

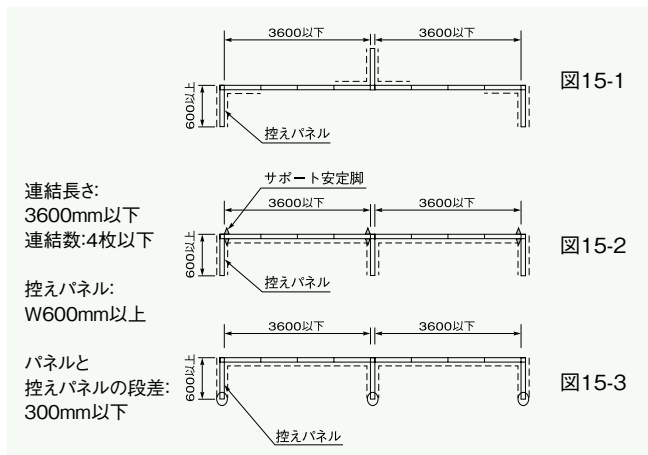
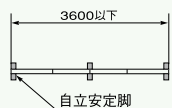
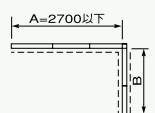
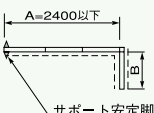
パネルと
控えパネルの段差:
300mm以下

**注意** ●控えパネルが片側のみの取り付けの場合は下記2点のどちらかで対応のこと
・すべての控えパネルの反対側にサポート安定脚を取り付ける
・すべての控えパネルエンド部に床固定金具を取り付ける

**注意** ●直線レイアウトの両端に自立安定脚を取り付けのこと
●パネル2枚につき1つの自立安定脚を取り付けのこと
●下記2点は安定脚のみではレイアウトできませんのでご注意ください
その際は控えパネルにて対応願います
･H1900パネルを含む場合
･連結長さ3600mmを超える場合

**注意** ●A端部に必ずサポート安定脚を取り付けること

図17-1
A)連結長さ:2700mm以下
連結数:3枚以下
B)連結長さ:A/2以上

図17-2
A)連結長さ:2400mm以下
連結数:3枚以下
B)連結長さ:A/2以上
AとBの段差:300mm以下

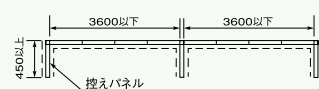
### ■LFシリーズ 直線レイアウト制限

●パネルを直線にレイアウトする際、下に示す各条件を必ずお守りください。ただし、各物件での什器の配置や躯体の仕様によっては条件が異なります。

●ドアパネルのレイアウト制限はP.家674 ドアパネルレイアウト制限をご参照ください。

●パネルの安定性を強化するために、パネル安定板の併用をおすすめします。

| 品 名 | 図記号 |
|---|---|
| パネル本体 | ▭ |
| 両面用安定脚 | ◁ ▷ |
| 片面用安定脚 | ▷ |
| 床固定金具 | ○ |
| 各連結ポール | □ |

図18　控えパネルを使用する場合
H1025･H1325パネルの場合

連結長さ:3600mm以下　連結数:4枚以下　控えパネル:W450mm以上
パネルと控えパネルの段差:化粧パネル1段分(300mm)のみ
------ :ブックシェルフ取付可能位置(フック取付推奨位置)

**注意** ●最大積載質量は、パネル1枚あたりブックシェルフ(15kg)、フック(5kg)です。

連結長さ:
3600mm以下
連結数:4枚以下

控えパネル:
W600mm以上

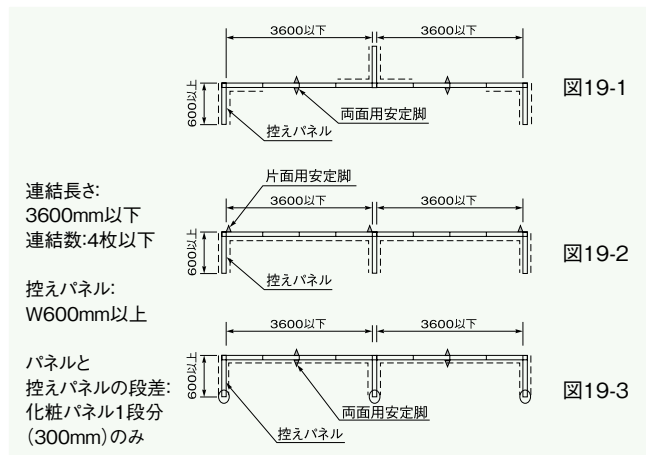
パネルと
控えパネルの段差:
化粧パネル1段分
(300mm)のみ

**注意** ●パネル2枚につき1つ両面用安定脚をフレーム連結部に取り付けのこと
●控えパネルが片側のみの取り付けの場合は下記2点のどちらかで対応のこと
・すべての控えパネルの反対側に片面用安定脚を取り付ける
・すべての控えパネルエンド部に床固定金具を取り付ける

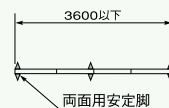
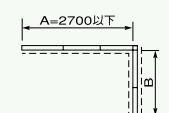
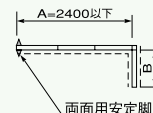
図20
控えパネルを使用せず
安定脚のみの場合
ガラスパネル、コンビパネル
を含む場合は不可

**注意** ●直線レイアウトの両端に両面用安定脚を取り付けのこと
●パネル2枚につき1つの両面用安定脚をフレーム連結部に取り付けのこと
●下記2点は安定脚のみではレイアウトできませんのでご注意ください
その際は控えパネルにて対応願います
･H1925パネルを含む場合
･連結長さ3600mmを超える場合

**注意** ●A端部に必ず両面用安定脚を取り付けること

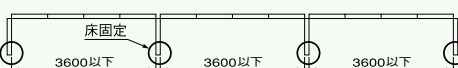
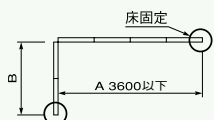
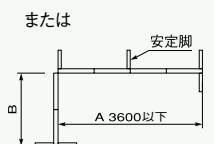
図21-1
A)連結長さ:2700mm以下
連結数:3枚以下
B)連結長さ:A/2以上
AとBの段差:化粧パネル1段分
(300mm)のみ

図21-2
A)連結長さ:2400mm以下
連結数:3枚以下
B)連結長さ:A/2以上
AとBの段差:化粧パネル1段分
(300mm)のみ

## ■KIパネル／ TFパネル共通 直線レイアウト制限

●パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図22～図27に示す条件を守ってください。控えパネルは、幅600mm以上でかつ直線パネルとの高さの差が500mm以下のものを採用してください。

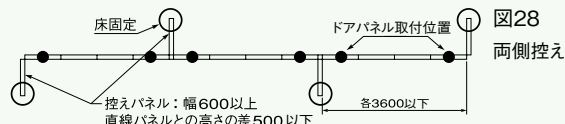
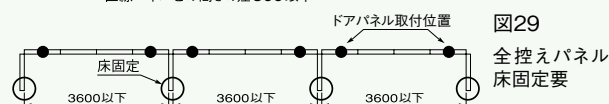
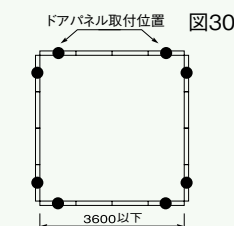
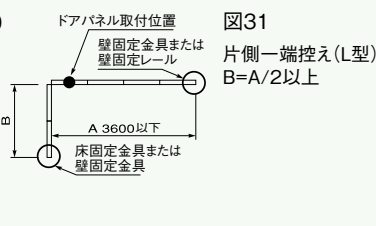
☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。
制限範囲を超えたレイアウトに関して事故等が生じた場合は、保証対象外となります。

☆ブックシェルフは片面1ヶのみ、パネル1枚(両面)としては2ヶまで設置可能です。

## ■EGパネル 直線レイアウト制限

●パネルを直線部が3000mmを超える場合は必ず片側をL字やT字等にしてご使用ください。

## ■LFシリーズ／ KIパネル／ TFパネル共通 ドアパネルレイアウト制限

●パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図28～図31に示す条件を守ってください。控えパネルは、幅600mm以上でかつ直線パネルとの高さの差が500mm以下のものを採用してください。

☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。
制限範囲を超えたレイアウトに関して事故等が生じた場合は、保証対象外となります。

注)ドアパネルは必ずコーナー部に設置してください。
ドアパネル本体下には必ず床固定(アンカー留め)等の施工をしてください。
上記レイアウト制限に準じて設置した場合でも、パネルのぐらつき防止として安定脚等の併用をおすすめします。

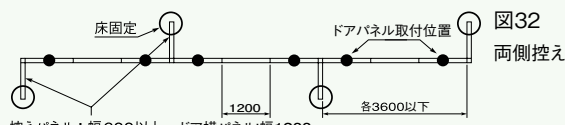
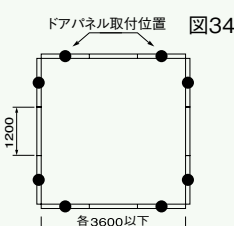
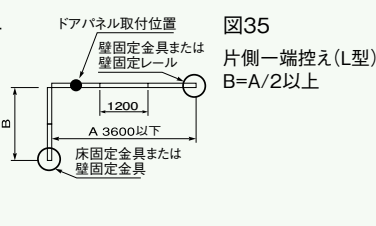
## ■TFパネル スライドドア レイアウト制限

●パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図32～図35に示す条件を守ってください。控えパネルは幅600mm以上でかつ直線パネルと同じ高さのものを採用してください。

●段差連結レイアウトはできません。

●スライドドアの隣に必ず幅1200mmのクロスパネル、またはスチールパネルを採用してください。

●直線パネルには、ガラスパネルのレイアウトはできません。

☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。
制限範囲を超えたレイアウトに関して事故等が生じた場合は、保証対象外となります。

注)スライドドアは必ずコーナー部に設置してください。
スライドドア本体下には必ず床固定(アンカー留め)等の施工をしてください。
上記レイアウト制限に準じて設置した場合でも、パネルのぐらつき防止として安定脚等の併用をおすすめします。

# 製品のお買い上げにあたって

## チェアの選定および使用上の注意

●おおむね体重35kg～90kgの方が快適に使用できるように設定しております。この範囲を大きく超える方がご使用になられる場合、販売店にお問い合わせください。
●床に傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
●スタッキングタイプのチェアを積み重ねる際は、水平な床面以外では行わないでください。転倒してけがをすることがあります。
●屋外や直射日光の当たる場所、火のそば、水のかかる場所、滑りやすい床面で使用しないでください。
●ガススプリングを火に入れたり、分解・注油しないでください。爆発してけがをするおそれがあります。
●チェアを運搬台や台車代わりに使用しないでください。転倒や落下してけがをすることがあります。
●チェアを踏み台代わりにして上に立ったり、肘の上に腰掛けたり、座面先端や逆向きに座ったりしないでください。転倒してけがをすることがあります。
●幼児を1人で座らせたり、操作させないでください。転落や転倒をしてけがをすることがあります。
●廃棄するときは専門業者、または販売店にお問い合わせください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
●部品交換・追加等の施工は、販売店にご依頼ください。
●異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にお申し付けください。破損や本体が倒れてけがをすることがあります。

## 感熱紙

●感熱紙は保存用の文書や図面等には使用しないでください。印字が消えたり変色したりします。感熱紙にて作成した文書等は、PPCコピー等に置き換えて保存してください。
●軟質塩化ビニル製のポケットファイルには入れないでください。印字が消えたり変色したりします。材質がポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、紙のものを使用してください。

## 粘着用紙・粘着フィルム

●粘着用紙や粘着フィルムに印字等したものを、貼り付けて図面等を作成した場合、青焼、複写機等の原紙として使用しないでください。また長期保存用としても使用しないでください。いずれの場合も耐久性、保存性の優れた第2原紙に置き換えて使用してください。

## 耐火金庫・防盗金庫

●耐火金庫・防盗金庫の詳細については、P.家505をお読みください。

## ダイヤル錠保管庫

●ダイヤル錠の暗証番号が判らなくなった場合はご購入先の営業担当または販売店にご相談ください。お客様（管理者様）が暗証番号を検索・解錠できる非常解錠キーをご用意（有償）いたします。ダイヤルキーの錠前は簡易施錠につき、収納品の盗難については一切の責任を負えませんので予めご了承ください。

## 製品の特性を十分に生かしていただくために

**【木製家具】**

●天然木を使用した製品につきましては、木目および色相にある程度の差異が生じることがあります。これも天然木らしい特徴の一つですのでご了承ください。
●直射日光の当たる場所に設置しないでください。変形や変色の原因になります。
●天板の上に熱い茶碗や結露したコップ等を直接置かないでください。白っぽい跡がつくことがあります。必ず茶たく等を介して置いてください。
●飲み物などをこぼした場合にはそのまま放置せず、すぐに拭いてください。変色する場合があります。
●天板の上にビニルやプラスチックを直接置かないでください。塗装面と化学反応をおこし、軟化やべとつきを生じることがあります。
●天板の上に直接1枚の紙を置いてシャープペンシルやボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。表面に跡がつくことがあります。デスクマットや下敷き等を使用してください。
●天板の上に直接、金属や陶器等の硬くて角ばったものを置かないでください。表面にきずがつくことがあります。敷物を使用してください。
●表面の手入れにはシンナー、ベンジン、ガソリン、アルコール、ワックス等は使用しないでください。塗装面を侵します。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めて拭いてください。その後、洗剤が残らぬよう水拭きをしてください。更に柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。

**【本革部のお手入れ】**

●本革は直射日光と熱に弱いので、設置環境に注意してください。ご使用になる前に革専用のプロテクト剤を塗っておくと、革の美しさを長く保つことができます。
●通常は、乾いた柔らかい布で乾拭きし、ホコリをこまめに取り除くようにしてください。
●汚れがついてしまったら、すぐに拭き取ってください。長時間おくと汚れが取れなくなってしまいます。
●汚れた場合には、市販の本革用クリーナーを使用してください。
●年に1回くらいの割合で、皮革専用クリームを薄くのばすように塗っておくと長持ちします。

**【合成皮革・ビニールレザー部のお手入れ】**

●通常は、乾拭き、または固く絞った布で水拭きしてください。
●汚れた場合には、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。その後、少量の水で濡らした布で洗剤を取り除いてから乾拭きしてください。

**【布部のお手入れ】**

●ホコリや汚れをこまめに取り除いて、いつも清潔に保つことが張り地を長持ちさせるコツです。
●通常のお手入れは、柔らかいブラシで表面を軽く叩くか、掃除機をかけてください。特に、縫い目や隙間に入った汚れは掃除機で吸い取るようにします。
●汚れがついてしまったら、すぐに濡れタオルなどで拭き取ってください。長時間おくと汚れが取れにくくなります。
●汚れた場合には、温湯で薄めた中性洗剤で軽く叩くようにして拭き取ってください。その後、少量の水で濡らしたタオルで洗剤を取り除いてください。

**【ガラス部のお手入れ】**

●ヒビや欠けが生じた場合、そのままでのご使用は非常に危険です。使用を中止し、修理または交換をしてください。
●通常のお手入れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
●汚れた場合には、ガラスクリーナーや薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤を拭き取ったあと乾拭きしてください。

**【金属・樹脂部のお手入れ】**

●研磨剤の入ったクリーナーや金属タワシは、表面を傷つけますので使用しないでください。
●通常のお手入れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
●汚れた場合には、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤を拭き取ったあと乾拭きしてください。

## オフィス家具製品の安全性と保証期間

当社は一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具PL対応ガイドライン」に準拠した安全な製品を提供しております。この製品の保証期間は特別の定めのある製品以外は、JOIFA顧客対応ガイドラインに基づき、通常の状態で使用された場合3種別毎に（お客様購入の日から）1年・2年・3年としております。24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所での保証期間ではありません。今後とも当社はより一層製品の品質・安全に留意してまいります。当社製品をこれからもご愛用ください。

| 外装・表面仕上げ | 塗装及び樹脂部品の変・退色、レザー・クロスの摩耗 | 1年 |
|---|---|---|
| 機構部・可動部 | 引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障 | 2年 |
| 構造体 | 強度・構造体にかかわる破損 | 3年 |

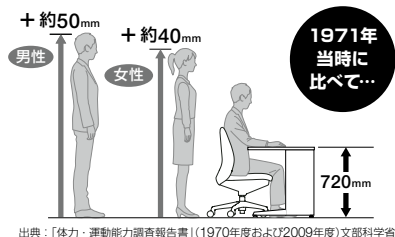
プラス株式会社
（社）日本オフィス家具協会認定番号 JOIFA331

## JOIFA（一般社団法人 日本オフィス家具協会）からのお知らせとお願い

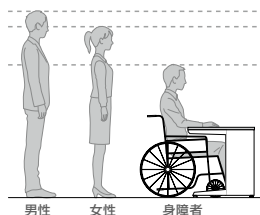
### 事務机の高さについて

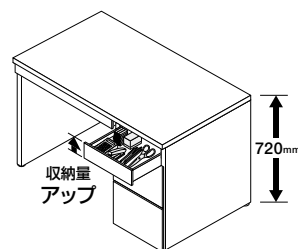
JOIFAは、働く人の体格向上やユニバーサルデザインに配慮した、働きやすいオフィス環境の実現に向け、事務机の高さ720mmを推奨いたします。

#### 働く人の体格が向上しました

現在、オフィスで働いている人の平均身長は、700mmを標準的な机の高さにした1971年当時に比べ、約40mm～50mmも伸びました。そこで机の高さを20mm高くして、働く人の体格に合わせ、働きやすい環境を提供します。

出典：「体力・運動能力調査報告書」（1970年度および2009年度）文部科学省

#### 働く人が多様化しました

当時に比べて、女性の社会進出や外国人ワーカーの増加、身障者の雇用拡大などで、オフィスで働く人が随分と多様化してきました。720mmの高さの机は、様々な人が働く現代のオフィス環境に柔軟に対応します。また従来の700mmの高さの机もご使用いただけますので、お客様のニーズに合わせてお選びください。

#### 収納量がアップします

机の高さを720mmにすることで、A-3段袖の場合、袖キャビネットの小引出しが深くなり、名刺整理箱・印鑑・その他、様々な文具・小物類が無理なく収納できます。

### 健やかな空気質の確保を目指して換気励行のお願い

ここに述べる注意事項は、使用者皆様の健康阻害を防ぐため、極めて重要です。購入以後のご注意事項ですから、使用者の皆様に是非お守りいただくよう宜しくお願い申し上げます。

#### 1.製品購入時の注意事項

購入当初は、化学物質の放散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

#### 2.温度や湿度の変化による換気の励行

室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
（参考資料:国土交通省住宅局パンフレット「快適で健康的な住宅で暮らすために」）

### オフィスづくりのソフト料金体系についてのお願い

96年3月に通商産業省（現経済産業省）より「オフィス家具の商慣行改善調査報告書」の示唆を受けて以来、オフィスづくりは経営上の重要な課題となっております。快適かつ機能的なオフィスへの関心が一段と高まる中、当会会員企業はその需要に応えるべく、過去の豊富なオフィスづくりの研究や実績をもとに、お客様にご満足いただけるプロジェクトマネジメントやオフィスプランニングなどのソフト構築を進めております。また会員はスタッフの充実、最新システムの導入、お客様のニーズの的確な把握等々に積極的に取り組んでおりますが、その根底には、お客様のオフィスづくりの各フェーズにおけるソフト料金体系が存在しております。
このような情況の下、当会会員企業よりオフィスづくりのソフト料金体系につきまして説明がありました節には、ご納得ご高配の程お願い申し上げます。